



上原だより

渋谷区立上原小学校
校長 佐伯 孝司

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310240>

こころとあたまの 深呼吸「読書月間」

副校長 西村 綾乃



11月は「読書月間」でした。毎年、読書月間を契機に、本を好きになつてもらいたいと、図書委員会の児童が工夫を凝らした取組をしてきました。今年の図書委員会の取組は「おみくじ」です。くじには各委員がおすすめする本を紹介しています。（左の写真）おみくじを引いてもらい、普段手に取らないジャンルの本にも手を伸ばしてほしいという図書委員の思いが込められているそうです。おすすめの本は手に取って見られるようカウンター脇に並べてあり、来室した子供たちは、くじで当たった本を手にとって眺め、本が読めるのを楽しみにしていました。本校の図書室には、その他にも多くの工夫があります。

①「りんごの棚」の設置 (various people)

今年度、図書館専門員のご協力により「すべてのひとに読書の楽しみを」のテーマを掲げている「リンゴの棚」という展示スペースを設けました。棚には「みんなのためのバリアフリー図書」を展示しています。点字本もあります。また書籍だけでなく、読書を支援するための道具も展示しています。この取組は、誰もが読書を楽しめるようにという思いから、スウェーデンの図書館で始まった取組だそうです。トレードマークであるリンゴのイラストも、発祥国スウェーデンの公共図書館で作成されたそうです。こういった展示を折に触れ児童が目にし、手に取ることで、「誰でもが読書を楽しむことのできることの素晴らしさ」を肌で感じ、多様性理解も一層深まると考えています。

②「祝日」「行事」など、旬の情報発信

11月は「東京 2025 デフリンピック」が開催されました。記念すべき東京開催に合わせ、関連する掲示や、書籍を展示しています。年間を通して、その時々の催しに合わせた本を置くことで、子供たちの知的好奇心を刺激し、様々なことに興味をもつきっかけとなっています。（マイ探究の課題選びのきっかけとなることもあります。）

③安らぎの感じられる空間演出

PTA図書担当の方のご協力による春・夏・秋・冬の常時装飾と、正面を飾る季節ごとの装飾は圧巻です。また天井から吊り下げられた手作りモビールも児童の人気の作品です。休み時間になると、本好きの児童、静かな空間でゆっくりと過ごしたい児童の姿が見られます。

読書は子供たちの心を豊かにし、言葉の力を育て、考える力を深め、人生をより豊かにする力をもっています。本を大切にし、ルールを守ってみんなが読書を楽しめるよう、ご協力お願いします。